



加吉だより

加古小学校通信
令和6年3月号
No.45 (361号)

「個性を大事にする」 ～プロカメラマンの授業～

校長 吉田 博明

<「小学校で授業がしてみたい」>

加古小学校には様々なゲストティーチャーが来て、児童のみなさんに特別授業をしてくださいます。今回6年生の特別授業にプロカメラマンの浜淵さんが来てくださいました。きっかけは加古小学校の150周年記念イベント。ドローンを使って、みんなの集合写真を撮ってもらいました。そんな中で、「実は、ずっと子ども向けにやってみたい授業があるんです。」と話されました。内容を聞いて、これは児童の成長に役に立つと判断し、「じゃあ、3学期に6年生に向けて授業をやってください。」と依頼しました。

<個性を大事に>

今はデジカメやスマホで、何枚も写真を手軽に撮ることができます。そして失敗したらすぐに消去。そんな中、浜淵さんが用意したのは「写ルンです」。カメラ型の写真フィルム。27枚しか撮ることができません。枚数制限がある中で、みんなはどんな写真を撮るのか。そこにそれぞれの個性が出るのではないかと、浜淵さんはそう考えました。自己紹介から授業の内容説明、そして「写ルンです」を配布。約一か月で、自分の好きなことや物、場所を撮ってくる宿題が出ました。

<そこには自分だけの個性が！>

写ルンですを提出し、いよいよ現像が出来上がりました。出来上がった写真は、誰にも見せなくても大丈夫ということでしたが、みんなは大喜びでみんなで見せ合いをしていました。そこから一枚選び、なぜこの一枚を撮ったのか、そこに込めた自分の思いを紙に書いてみんなに伝える授業です。最初たくさんの人が選んでいたのは、みんなで写っている集合写真。浜淵さんは、内心「みんな同じような写真になるかな」と心配されたそうです。でも26日に行われた最後の授業でみんなが選んでいたのは、個性たっぷりの様々な写真でした。稲美町の風景や夕日の写真、低学年と写っている写真や友だちと指でつくったマークの写真など様々。書いてあるコメントを読むと、「なるほど」と納得することも多く、「とても個性が出ていて、ユニークな写真ばかり。やって良かった。」と浜淵さんも喜んでおられました。

<いろんな出合いを大切に>

最後に、「今、周りに友だちがいなくても、これから出て行く社会はとんでもなく広くいろんな人がいるので絶対仲間に出会える。自分でいろんな所へ行き、いろんな出合いをしてください。」と話されました。

